H29年７月作成

【別紙】

ロジックモデルシート（平成28年度実績評価）

施策コード	4	施策名	健康づくり・医療の充実	小施策主管課名	生活衛生課
小施策コード	4-3	小施策名	生活衛生対策の推進		

事業名 / 事業概要等

①食品衛生指導事業

【事業概要】 食品衛生法に基づく営業許可・監視指導，と畜場法に基づく設置許可・と畜検査等，化製場等に関する法律に基づく設置許可・監視指導及び食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に基づく設置許可・監視指導の事務を行う。

【事業費】 6,621千円

【事業担当課】 生活衛生課

【実施内容】 食品の安全性を確保するため，食品の安全性について指導を行うとともに，食品衛生監視指導計画に基づいた重点監視指導を実施し，食品による事故防止に努める。

【進捗状況】
1 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に伴う衛生対策
国体の宿泊施設及び弁当提供施設への衛生講習を含め，合計45回の講習会を実施した。また，国体関係事業者への立入検査を624件実施するなど，事業計画のとおり監視指導を行った。
2 ノロウイルスを原因とする食中毒対策
計画のとおり，11月に社会福祉等給食施設への立入検査，12月～1月に一斉監視を行ったほか，衛生講習会で重点的にノロウイルス対策を取り上げ，知識の普及に努めた。
3 腸管出血性大腸菌やカンピロバクターを原因とする食中毒対策
6月～8月の重点監視期間を中心に，関係営業施設に対し立入検査を行い，予防対策の周知を図った。
4 食品関係施設へのHACCP普及促進
飲食店等の許可施設を中心に，食品安全サポーターによる巡回を実施し，さらに食品衛生監視員による立入検査により岩手版HACCP適合を確認するなど，HACCPの普及促進に努めた。

②試験検査事業

【事業概要】 食品衛生法に基づく収去検査，飲用水検査等を行うほか，感染症や食中毒発生時には原因特定のための検査を行う。

【事業費】 6,903千円

【事業担当課】 生活衛生課

【実施内容】
・食品衛生法等に基づく微生物検査及び理化学検査の依頼に応じ，検査を実施する。
・正確かつ精密な試験検査を実施するために，食品衛生外部精度管理調査（微生物部門：6項目／年6回）へ参加し，当所が実施する検査に係る信頼性の確保と検査精度の維持向上を図る。
・経年劣化した試験検査機器について，市民ニーズに的確に対応できるよう，機器更新計画に基づき予算要求をしていく。

【進捗状況】
1 微生物検査部門における精度管理の推進
平成28年度外部精度管理調査実施計画に基づき6回（E.coli検査，一般細菌数測定検査，腸内細菌科菌群検査，黄色ブドウ球菌検査，サルモネラ属菌検査及び大腸菌群検査）全ての調査が終了した。全6件の調査結果については，全て良好であるとの結果が通知された。
2 リアルタイムPCR等を用いた食中毒原因菌スクリーニング手法の検討
スクリーニング結果として良好な結果が得られている。検査実績を積み上げ精度を高めたい。
3 リアルタイムPCRを用いた感染性胃腸炎ウイルス検査についての検討
県による検査結果との比較を行っても良好な結果が得られている。今後も検査実績を積み上げ精度を高めたい。
4 試験検査の設備更新計画の検討
1機種のみではあるが平成29年度の機器更新予算を獲得することができた。今後も試験検査機器更新計画に基づき，予算要求をしていく。

③生活衛生指導事業

【事業概要】 旅館業法，公衆浴場法，興行場法，理容師法，美容師法，クリーニング業法，温泉法，水道法，建築物における衛生的環境の確保に関する法律，有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づき，営業許可，監視指導等の事務を行う。

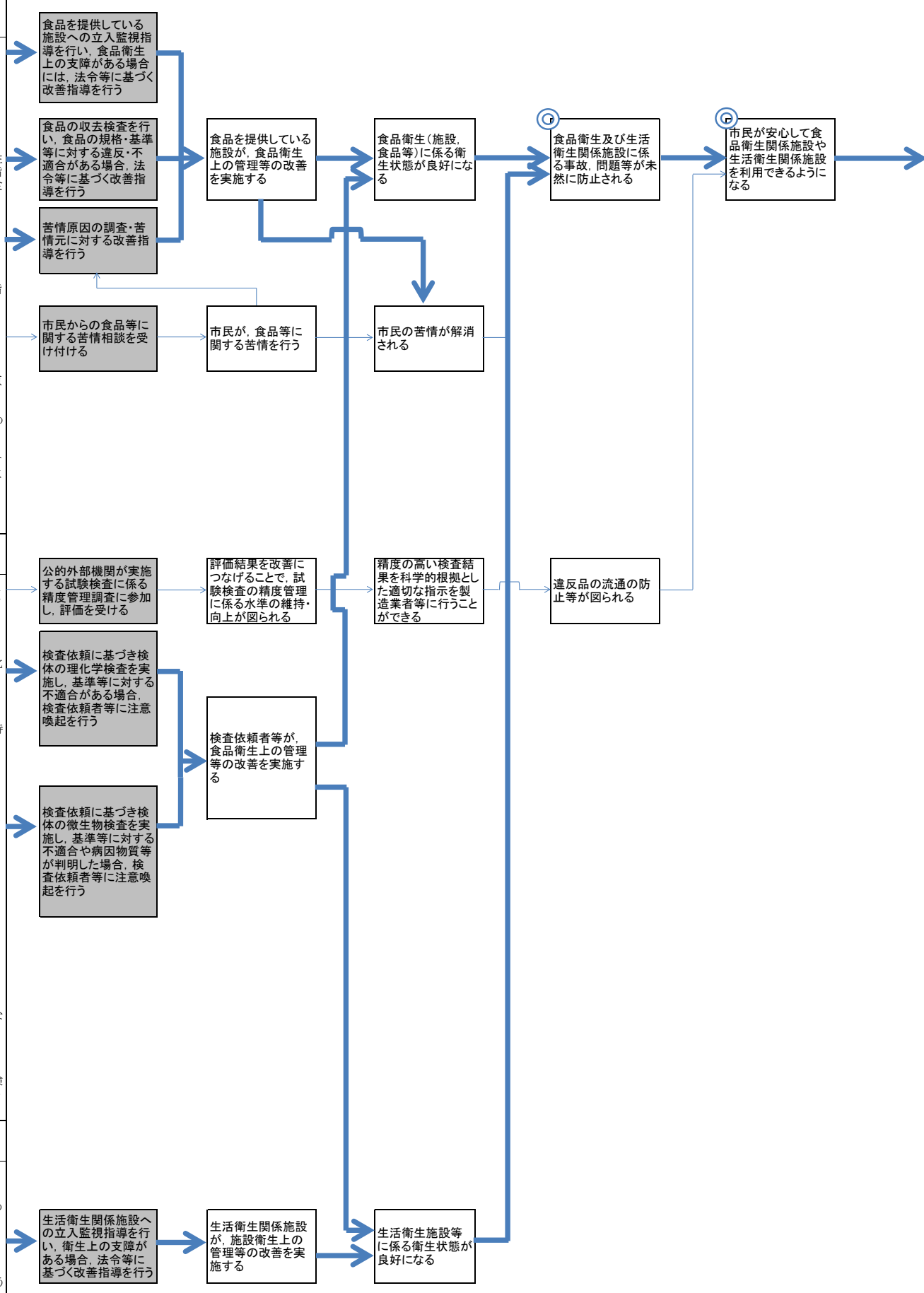
【事業費】 799千円

【事業担当課】 生活衛生課

【実施内容】
・希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に伴う衛生対策
・公衆浴場等におけるレジオネラ症防止対策
・専用水道等における衛生対策
・理容所，美容所等における衛生対策
・家庭用品による健康被害防止対策

【進捗状況】
1 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に伴う衛生対策
昨年度から引き続き当該大会に係る宿舎等の施設に対し，計画的に立入監視を実施した。衛生的管理状況に応じ，旅館業法等に基づく所要の改善指導を行った。
2 公衆浴場等におけるレジオネラ症防止対策
昨年度から引き続き国体に係る宿舎のほか，浴場施設について計画的に立入監視を実施した。また，レジオネラ属菌に係る水質検査の結果，当該基準超過が判明した施設に対し，使用の自粛とともに衛生的管理の徹底や設備の改善指導を行い，健康被害の未然防止に努めた。
なお，これらの営業施設の浴槽水については，施設監視時における衛生管理状況に係る科学的検査手法としてATP検査を実施し，今年度も施設管理者に対し，衛生的管理手法の啓発に努めた。
3 専用水道等における衛生対策
当該施設を有する国体に係る宿舎等を中心に，重点的に立入監視を実施した。衛生的管理状況に応じ，水道法等に基づく所要の改善指導を行った。このほか，行幸啓等に係る施設についても，岩手県の指揮下で衛生対策指導・監視を行った。
4 理容所，美容所等における衛生対策
随時，営業施設への立入監視を行い，衛生指導を実施した。このほか，営業実態のない施設を含め，法令に基づく届出を行っていない未届施設に対し，所要の届出を行うよう指導した。
5 家庭用品による健康被害防止対策
7月と11月の2回，乳幼児衣料繊維製品中のホルムアルデヒド含有量について試買検査を5検体ずつ，計10検体実施した。全検体について，基準値以下であることを確認した。平成28年度計画における予定回数をすべて実施済みである。

活動 …… 結果 …… 目指す成果



小施策

【対象】
・営業施設等（営業者・管理者，業界団体含む）
・利用者（客・市民）

【意図】
・営業施設等（営業者・管理者，業界団体含む）の良好な衛生環境が保たれている
・利用者（客・市民）が安心して利用できる

【成果指標・実績値・目標値】

A
立入検査の計画に対する実施率
（単位 %）

H28	H31	H36
120.7	100.0	100.0

B
収去検査結果不適検体数
（単位 件）

H28	H31	H36
10	0	0

C
前年度の不良食品苦情件数との比較
（単位 %）

H28	H31	H36
67.5	95.0	95.0